

科目（講座名）	日本史演習	4 単位	必修選択
教科書	詳説日本史B 改訂版（山川出版社）	担当教諭	
副教材	最新日本史図表 四訂版(第一学習社)		

学習の目標

系統化された歴史学の知識を理解する過程で、生徒一人ひとりがそれぞれの歴史観を養い、より良い歴史の創造者となる手がかりをつかむことを目標とする。

授業内容

「第4章 中世社会の成立」から「第8章 幕藩体制の動揺」を扱う。
 中世から近世・近現代へと展開する歴史の流れを、政治、文化、経済などの様々な観点から学習し、歴史への理解を深める。教科書だけでなく、写真や地図、史料を多く活用し、歴史的な事象を多面的・多角的にとらえる力を養うことを目指す。

学習方法

プリントを配布しながら、板書も行う講義形式。図表・史料を随時使用する。
 大学入試問題を使用した演習プリントを適宜配布し、学習した基本事項などを確認するとともに、入試問題へ対応できる実践的な学力を養成する。
 受験を意識し、資史料を重視した講義を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	各時代の政治体制や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。授業や演習に対して意欲的に取り組んでいる。
思考・判断	中央集権や地方の支配体制の変遷や経済・文化の動向から課題を見出し、国内だけでなく東アジア世界との関係や地方の動向と関連づけて多面的・多角的に考察している。
技能・表現	政治権力の変遷や文化の特色に関する現物資料・文献などの史料を活用し、追究・考察した過程や結果を適切に身につけている。身につけた基本事項を議論や論述する場面で適切に活用している。
知識・理解	政治・経済・文化等についての基本的な事情を、国内・国外の事情を加味して多面的・多角的に理解し、その知識を身につけている。

評価方法

定期考査を基本に、平常点を加味し、上記の観点を総合して評価を行なう。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	52	第4章 中世社会の成立 院政と平氏の台頭	平安時代の地方社会 貴族文化の展開 院政と荘園公領制 ～平安末期の文化	<ul style="list-style-type: none"> ・公領の変質や荘園の拡大、武士の台頭などに着目して、律令制の変質と摂関政治や院政の展開を理解させる。 武家政権の支配の進展や庶民の台頭、東アジア世界との交流に着目させて、武家社会と公家社会の関わりや庶民文化の萌芽、地方への文化波及の様相を理解させる。
	5		武士の社会	源平の争乱～鎌倉幕府の成立	
	6		第5章 武家社会の成長	室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化	
	7			戦国大名の登場	
2	9	56	第6章 幕藩体制の成立	織豊政権 桃山文化	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の仕組みについて、幕府の組織、政権基盤、大名・朝廷・寺社・農民統制のあり方、鎖国政策を考察し、政治的、社会的な背景や役割と関連させて理解させる。 ・享保の改革から寛政の改革に至る幕府政治の移り変わりを理解させるとともに、その背景としての都市や農村における社会の変動に目を向けさせる。
	10			幕藩体制の成立 幕藩体制の構造	
	11		第7章 幕藩体制の展開	幕政の安定 経済の発展 元禄文化	
	12		第8章 幕藩体制の動揺	幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代への道 化政文化	
3	1	32	第8章 幕藩体制の動揺	幕府の衰退と近代への道 化政文化	<ul style="list-style-type: none"> ・農村を基盤とする幕藩体制が動揺していく過程と、社会・経済の発展の中で近代を準備する新しい要素が制されてきたことを理解させる。
	2				
	3				